



園便り 長月

平成29年9月1日
こころの保育園文京西片

1日の防災引き渡し訓練では、メールの登録までお願いしましてお忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

今月はクラス懇談会があります。16日の乳児クラスの懇談会前半は「乳児期の親の関わり方」をテーマに講演会となっています。子育てにあたっての心構えとして「乳児期は肌を離さず、幼児期は手を離さず、学童期は目を離さず、思春期は心を離さず」とよく言われますが、乳児期はその第一歩です。親子とはいっても、子どもが生まれたその日から親子の関係が出来上がっているわけではありませんから、親子の向き合い方は最初から試行錯誤の連続です。特に乳児期は成長、発達の色合いが日々著しいために、子どもの成長に合わせた関わりの難しさがあります。講師の方には、親として関わり方のヒントになるようなお話をお願いしています。

9日の幼児クラスの懇談会前半は、おやつを試食会です。前回1月同様に、カフェ形式での懇談の場を予定しています。幼児期になって赤ちゃんらしさが抜け、お兄さん・お姉さんらしくなってくると、自分でできることが増えてきます。その時に、どこまで親が関わればいいのか、親として成長を喜ぶ半面寂しさを感じるようにもなり、肌を離れたところでどのように子どもと手をつなげばいいのか、実に悩ましいものです。正しいマニュアルがあるわけではなく、それぞれの親子の関わり方が正解ともいえるので、他のクラスの保護者の方のお話も大いに参考になると思います。是非ご都合をつけていらして下さい。

最後に学童期にふれておきますと、学校に行くようになると、親の目が行き届かない行動が格段に増えます。予想外の行動を後で知って、お詫びをしたりされたりということも出てきます。手がかからなくなって寂しさを感じても、親の出番はまだまだあるということで、目を配ることが大切なのはそのためだと思います。もちろん子育ては大変なことばかりではなく、大きくなって子どもが自分なりに考えるようになると、思いのほか子どもの意見が深いのに驚かされたり、親の方が励まされたりすることもあり、そのためにも心を通わすことは大切です。いくつになっても親子で支え合うのは大切なことですし、小さい頃からの日々のやり取りの積み重ねが重なっていくのだと思います。

宮島 洋

9月の予定

9月 9日(土) 幼児(3・4・5歳児)クラス懇談会 9:00 受付
9月 16日(土) 乳児(1・2歳児)クラス懇談会 9:15 受付



※9/9(土)の幼児クラス懇談会は前半がおやつを試食会、後半が懇談会です。

※9/16(土)の乳児クラス懇談会は前半が子育てについての講演会、後半が懇談会です。

保育士体験について

今月より随時保育士体験を受付けます。予め希望の日をお知らせください。園の予定と調整の上実施となります。初めての方はもちろん2回目、3回目の方も是非いらして下さい。

※お知らせ 8月末より、ホームページに今日の献立を掲載しています。

10月の行事予定

10月8日(日)運動会(於:本郷小学校 午前中)

※詳細は別紙で改めてご案内します。

10月17日(火)~19日(木)1歳児クラス保育士体験

10月26日(木)1・2・3歳児クラスお弁当の日

※今年度の4・5歳児クラスの芋堀遠足は11月2日(木)の予定です。お弁当の用意をお願いします。



次回の地域活動プログラム

毎月、保育園に通っていない地域のお母さん方にも来ていただいている地域活動ですが、今回は10/8の運動会にお誘いしています。



ほけんだより

先日、「脳を鍛える大人のDSトレーニング」を監修した川島先生の研修に行ってきました。脳科学研究者の立場からの子どもとの関わりの大切さについてお話を聞いてきましたので、少し紹介させていただきます。
(佐藤衣里)

脳の中の、前の方にある前頭葉。これは運動機能をつかさどっているそうです。その中でも前の方にある前頭前野という部分が、考える力、感情のコントロール、人と上手に関わる力、自ら何かをやる力、行動・感情の制御、など社会に出てから困らない力をつかさどる部分であり、この前頭前野は乳幼児期に一気に成長し、その後はあまり発達しないと研究で分かっているとのこと。

その前頭前野を発達させるためにできることを、3つ紹介します。

①親子の会話が子どもの脳を刺激する

家族と顔と顔を見て話す時のみ前頭前野は動き、壁を見て話したり、他人と話しても動かない。

②親子で料理を作ると前頭前野が働く

週に1度ホットケーキ作りをし、例えば牛乳を半分こぼしたとしてもそれには触れず半分入れられたことなど、できたことを褒めていく。

③褒める言葉掛けが子どもの脳を刺激する

子どもの「できた」その達成した瞬間に、言葉は短くていいので「できたね」「すごいね」の一言を言うだけで意欲、自由さが伸びる。

乳幼児期の早期教育(読み書き)は大人になると周りとの差がなくなっていくものです。親と子が、時間と空間を共有することが大事であり、日本人は主観的に幸福度が低い国民ですが、毎日朝食を食べる人は欧米と幸福度が同じだったり、親子でおやつ作りの経験がある大学生は、心の幸福度が高いという研究結果があるそうです。

参考にしてみてください。

毎日5分の 脳トレ遊び

♪むすんでひらいて

1回目→普通にむすんでひらいてを親子で行う。

2回目→「手を叩いて」の部分を「手を叩かないで」に変える。

♪おだんごたべたゲーム

大人「おだんご食べた」

子ども「いーくつ食べた」

大人：手拍子を好きなように行い「はい！」

子ども

手拍子の真似をして「はい！」

この遊びで、子どもの前頭前野が働き、愛着関係も築けます！
知能指数も伸びるとか・・・